



せい
誠

生徒指導部だより
種子島中央高等学校生徒指導部 6月号
平成28年6月30日

イチロー 4257安打 日米通算ローズ抜く ～6月17日付南日本新聞～



パドレス戦の9回、右翼線に2塁打を放つマリナーズのイチロー外野手。メジャー記録を日米通算で抜く4257安打とした=6月15日

技量と努力の金字塔 「真の最多安打」視野に

マリナーズのイチローはメジャーの安打だけでローズを超えられるだろうか。日米通算で抜いた直後、イチロー自身は「僕は子どもの頃から人に笑われてきたことを常に達成してきているという自負がある」と静かに自信を漂わせた。

「小学校のとき、近所の人から『あいつプロ野球選手にでもなるのか』といつも笑われた。アメリカに行くときも『首位打者になってみたい』(と言って) そんな時も笑われた」と明かす。もちろん、どちらも実現させた。42歳の現役最年長野手になった今も「常に人に笑われてきた歴史、悔しい歴史が僕の中にあって、これからそれを達成していきたい」と言い切る。

現時点でローズのメジャー記録まで1277本。イチローは50歳まで現役プレーする希望を口にしており、その願いが実現すれば、真のローズ超えを果たす可能性が出てくる。

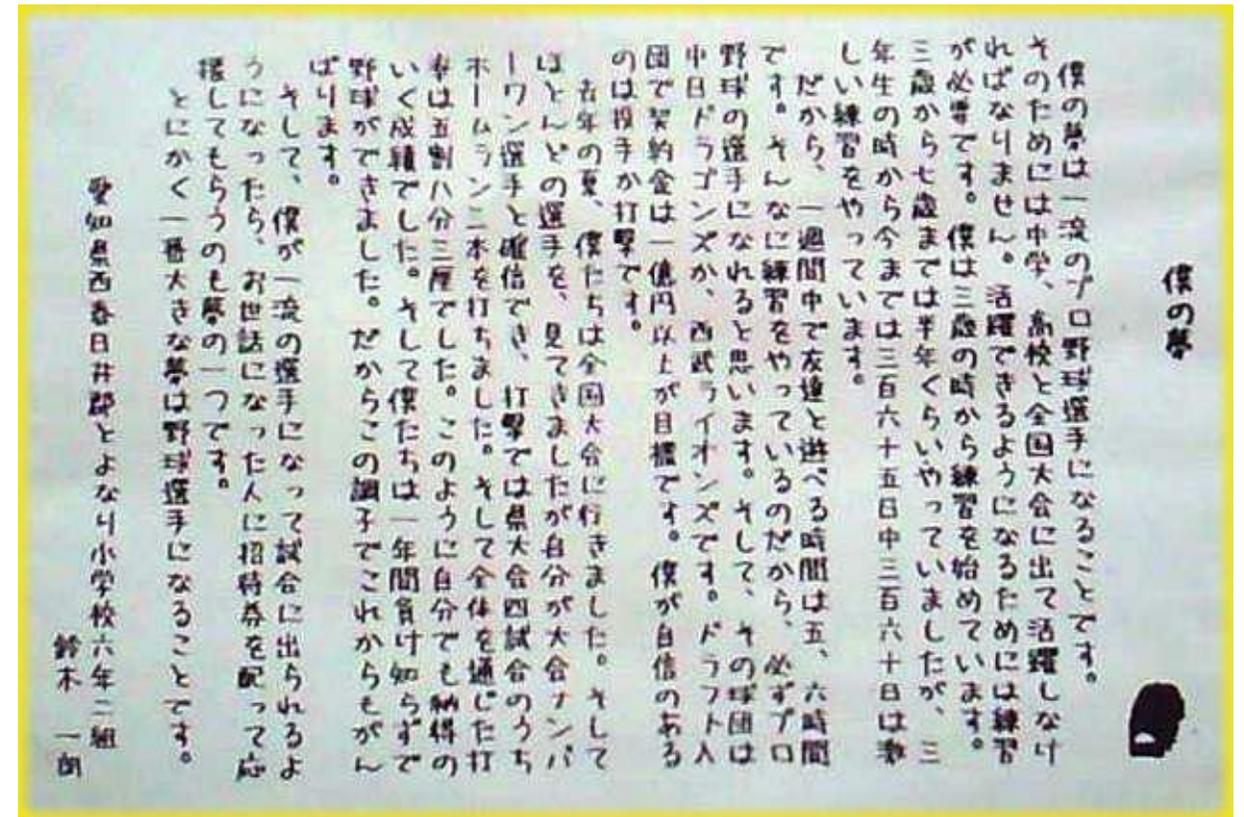
望みをつなぐのは今季の打撃内容だ。チームが66試合を消化した時点でわずか7三振。一方出塁率4割1分シーズン最多安打記録を更新した2004年と同じように高い。昨季まで内角の速球を軸にした攻めに苦しんでいたが、今はことごとく打ち返している。

「この3年はちょっときつかった」とイチローは正直だ。起用パターンが定まらなくなったのが3年前。さまざまな経験を経て、適応能力は強化された。

イチロー選手がまた、偉業を達成した。

公式記録にはならないが、日米両国で活躍しての偉業には違いない。野球の本場で世界最高の「安打製造機」であることを見事に示した。プロ野球オリックスに入団して3年目の1994年に才能が開花し、シーズン210安打を達成し、脚光を浴びた。2001年27歳で大リーグに挑んだ。活躍を疑う声を圧倒的な技量で封じた。2004年には262安打でシーズン最多安打を84年ぶりに更新。10年連続シーズン200安打の金字塔も打ち立てた。徹底した体調管理でけがによる長期離脱がほとんどない。メジャー現役最年長野手となった42歳での快挙はたゆまぬ努力のたまものだ。

※イチロー選手の小学6年生の時の作文です。



【科学から見た一流になる条件～10年1万時間ルール～】

ある領域で優れた能力を発揮するためには、最低でも10年1万時間が必要と言われています。例えば、毎日3時間の練習を365日続けると、年間1095時間、これを10年続けると約1万時間を生み出させるのです。

すなわち、一流になる法則は練習『量』そして練習の『質』といえる。単に時間を積み上げるだけでなく、今よりも良くなることを考え続け、努力し続けることが一流になる条件と言えるのです。

皆さんの日頃の生活・努力の度合いはいかがですか？